

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		08 01 03	中期総合計画主要施策番号		2 - 02		担当課	部・課	観光部観光企画課	
事業名		観光地景観対策研究事業				内線		3516		
						E-mail		kankoki@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	観光地の良好な景観の保持、育成による誘客の促進を図る。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 観光地の良好な景観は、重要な観光資源の一つである。このような景観が、解体撤去されずに残されている廃屋などにより阻害されている事例があり、対策が求められている。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 廃屋問題は、本来所有者の解決すべき問題であるため、現行制度上、行政が対応する手段が十分に整備されていない。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 廃屋問題の現状と課題を整理し、行政による解決方策を検討する必要がある。								
		事業内容								
		・法律の専門家などの有識者からなる研究会を設置し、観光地の良好な景観の保持・育成を図るための施策を検討する。								
	実施期間	H20		根拠法令等		「観光立県長野」再興計画				
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況			評価	
	有識者による研究会での議論を通じ、廃屋問題の解決方策を検討し、県の施策展開につなげる。		・研究会を開催し、廃屋問題の検討方策についての提言を行う。			・有識者による研究会を4回開催し、廃屋問題の解決方策をとりまとめた報告書を作成した。 ・報告書について、市町村説明会を開催するとともに、庁内に連絡会議を設けた。			a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円		630		国庫・県単 県単			
	決 算 額 (B)		千円		540		実施方法 直接			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円		540		歳出節別内訳等			
	概 算 人件費	従事する職員数	人		0.70		・報償費:218 ・旅費:322			
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円		5,544		(単位: 千円)			
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	長野県観光地景観対策研究会		回		4		・研究会での検討結果をとりまとめ、報告書を作成した。 ・市町村への説明会を開催した。 ・この問題に対して部局横断的に対応するため、庁内連絡会議を設置した。			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明 (終了)				
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		・事業の目的であった廃屋問題の解決に向けた取組方策の取りまとめについては、報告書の提出により事業としては終了する。今後は、廃屋問題に取り組む市町村と連携し、課題解決のための具体的な施策を立案、実施する必要がある。							